



1. 腰椎椎間板ヘルニアは、椎間板から (①) が脱出し、(②)、(③)、(④) を圧迫する疾患である。症状としては、(⑤)、(⑥)、(⑦) などがある。

① 髄核 ② 脊髄 ③ 神経根 ④ 馬尾神経
⑤ 慢性疼痛 ⑥ 膀胱直腸障害 ⑦ 腰部の内側および下部の疼痛

2. 腰部脊柱管狭窄症は、腰椎の (⑧) による変性によって、(⑨) や (⑩) が圧迫されて、症状を引き起こす。特に歩行状態に特徴があり、(⑪) が出現する。

⑧ 椎間孔

⑨ 脊髄 ⑩ 馬尾神経
⑪ 間欠性跛行

ここからは、脊髄損傷に関連する問題

3. 脊髄損傷は、脊柱管にある脊髄が損傷することにより、(⑫) 障害、(⑬) 障害、(⑭) などの障害を引き起こす。

⑫ 呼吸

⑬ 循環

⑭ 排泄

4. 呼吸器障害は、(⑮) 神経の (⑯) 番～ (⑰) に由来する神経障害によって起こる。人工呼吸器が必要な時もある。

⑮ 横膈膜 ⑯ 頸髄

⑯ C3

⑰ 神経原性 C5

5. 循環器障害は、(⑱) 神経の受容体 (⑲) 受容体、(⑳) 受容体を司る脊髄が障害されるため、(㉑) ショックを発症する。

⑱ 交感 ⑲ 交感 ㉑ 神経原性

心臓に分布する交感神経は T1-T4 に由来

6. 排尿障害は、排尿を司る (㉒) 神経、(㉓) 神経、(㉔) 神経由来である。

㉒ 下腹 T11-L2

㉓ 膀胱内臓

㉔ 陰部

S2-S4

神経原性

T4-C5

脊髄損傷 ... 高エネルギー外傷などを原因として、生じる脊髄の損傷で、頸髄が大半を占める、運動マヒや感覚障害だけでなく、循環器障害や呼吸器障害・膀胱直腸障害なども呈する、

↓

脊髄ショック → 弛緩性マヒ、反射消失、神経原性ショック、麻痺性イレウスを呈す、

C1-C3 ... 頭部の前屈・回旋 ... 人工呼吸器・全介助
C4 ... 呼吸・肩甲骨挙上 ... 会話可能・全介助
C5 ...

814

26

消化器障害は、交感神経 T6-L2 由来、直腸に分布する副交感神経は S2-S4 由来、
これ以上位の損傷では、胃・十二指腸潰瘍・麻痺性イレウス・胆門括約筋の麻痺

① 性間欠	② 脊髄	③ 馬尾神経	④ 神経根
⑤ 急性麻痺	⑥ 膀胱直腸障害	⑦ 殿部の片側および 下肢の疼痛	⑧ 脊柱炎
⑨ 脊髄	⑩ 馬尾神経	⑪ 間欠性跛行	⑫ 呼吸
⑬ 循環	⑭ 排泄	⑮ 横隔	⑯ C ₃
⑰ 神経原性	⑱ 下腹	⑲ 骨盤内臓	⑳ 陰部

⑰ C₅

⑱ 交感

⑲ ~~α~~

⑳ ~~β~~

35 36
26